

福祉ほうあん

VOL. 126

日々是好日



花ひらく観音

念ずれば
花ひらく
苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった

坂村真民



「こんなに大きなお
いもが取れたよ〜」。
ふじみのさとの利用
者さんが大切にはぐ
くんだ野菜を園児た
ちが収穫します。

「念ずれば花ひらく」。

詩国松山の詩人坂村真民さんが「八字十音の誓願」と呼んでいたことばです。

となえる人の手を引いて、祈りの中へ連れていってくれるような、温かい言葉です。花ひらきますように、花ひらきますようにという観音さまの声が聞こえてくるようです。

ほうあんふじでは「花ひらく観音」の近くで子どもたちが遊んでいます。種をまき、野菜を育て、草花や虫と遊んで



います。

（社福）宝安寺社会事業部の中には、3つの「念ずれば花ひらく」の詩碑が建立されています。わたしたちをいつも見守り、子どもたちや利用者さんを応援してくださっている有志のかたがた、地域のみなさんが建ててくださいました。

人はここで祈り、体を動かし、言葉にすることで、思いを実現していきます。ひとりではなにごとにも成し遂げることはできず、多くの人の力があって私たちの仕事が成りたっています。皆の思いが花を咲かせるように。

この言葉とともに、いつも感謝の気持ちを忘れず、少しずつ前に進んでいきたいと思えます。

坂村真民「詩集 念ずれば花ひらく」、サンマーク出版、1998、p.14.

【特集】 生きる



どこにもぶつけようのない怒り、
先の見えない不安、
ここから逃げてどこかに行ってしまうたい…
そんな風に思っていたのに、
隣を見ると、微笑んでいる人がいるあたたかさ

たくさんの感情、
出来事のなかで一日一日が過ぎていく

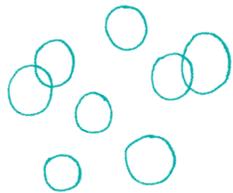
「生きる」って…なんでしょう？



社会福祉法人 宝安寺社会事業部
〒250-0004 神奈川県小田原市浜町1-4-38
TEL:0465-22-7667(法人本部)
FAX:0465-24-4411 <https://houan1900.jp>

houan1900

【特集】 生きる



「生きる」

悩んで、たくさん話し合いをして、このテーマになりました。
「こんな大きくて難しいテーマ、私たちに書けるのか？」
初めはそんな不安な気持ちがありました。

でも、お子さんや利用者さんと
毎日過ごしている私たちならきっと書けるかもしれない。
お子さんや利用者さんに、幸せであってほしい、
これからもよりよく生きてほしい、
そのために私たちができることは何だろう？
日々たくさん考えて悩んでいる
私たちの姿も一つの生きる姿ではないか？
そんな風に考えました。

どこにもぶつけようのない怒り、先の見えない不安、
ここから逃げてどこかに行ってしまうたい…
そんな風に思っていたのに、
隣を見ると、微笑んでいる人がいるあたたかさ

たくさんの感情、出来事のなかで一日一日が過ぎていく

「生きる」って…なんでしょう？

久保 未希子（ほうあんふじみのさと）

Contents

ほうあん第一しおん … 04

ほうあんのぞみ … 06

ほうあん第二しおん … 08

コラム きらり通信（小田原愛児園）… 10

ほうあんふじみのさと … 12

ほうあんホッと相談カフェ … 14

コラム 生きることは
食べること … 16

（小田原乳児園×ほうあんうみ）

おわりに … 18

日々是好日 … 20
（ほうあんふじ）



社会福祉法人
宝安寺社会事業部

時は1900年。当時の和尚夫婦が地域の子どもや若者に教育の場を提供し、孤児園を運営したことから、宝安寺の社会福祉事業がはじまりました。大震災や世界大戦を乗り越え、その時々で地域に必要とされていることは何かを考え、少しでも力になれるように…。現在は、浜町・曾我大沢・根府川で、子どもたちや障がいのある方々の人生に寄り添う、様々なお手伝いをさせていただいています。

農と生きたく 農で生きたく

林

さんの「俺たちのファーム」で下
たまねぎの植え付けと収穫を手伝っ
ています。

暑かったり寒かったり、力仕事ですが、み
んなが行きたがる人気の作業です。

そこは海からの大きな風が吹き抜けていく
丘で、大きな空の下で作業していると「ああ、
生きているな」って思います。

作業中に風が吹き抜けていくと、気持ちが
清々としてきます。林さんのもとにぼつぼつ
というんな人が集まってきてぼつぼつと、そ
れぞれの時間に帰っていきます。

ボクらのたまねぎ畑にあなたたちが来てく
れるようになって3年が経ちました。

この3年でボクらはあなたたちから本当に多
くのものもらい、そして大きく変わること
ができました。ありがとう。あなたたちに会
えて本当によかったです。

障がいを持つあなたたちには、出来ないこ
とがいっぱいあります。でもそれは出来るこ
とが少ないだけで「出来ることがない」わけ
ではない。出来ることが少ないあなたたちは、
与えられた能力を存分に発揮して、ボクらの
畑で苗を植え、草を取り、収穫をしてくれま
す。それは労働という次元を越えて、まさに
生きる姿。

あなたたちはたまねぎ畑で来る日も来る日
も精一杯に生きていました。少なくともボク
の目にはそう映りました。たまねぎが根を張
り、葉を伸ばして精一杯に生きるように、あ

なたたちもまた精一杯に生きていた。そんな
あなたたちと時間を共にするうちに「生きた
い」。ボクも生きたい。成功とか失敗とかの
結果にビクつくこともなく、正解とか正義と
か、常識とか道徳とか、そんなことにも目も
くれず、ボクも生きたい。そう思うようにな
りました。あなたたちと共に、もっともっ
と生きてみたい。今はそんな気持ちで一杯です。
だってワクワクするから。あなたたちと共に
あるだけで、ボクの命が歡喜するのを感じま
す。

地味で平凡で単純な畑での農作業が、トキ
メキの時間になりました。ただそこに、あ
なたたちがいてくれるだけ。共に生きてくれ
るだけで。本当に簡単なことだったんですね。
ただ生きればよかったんです。良く生きよう、
正しく生きようなんてことはそれほど重要で
はなかった。ただ生きる。今自分に出来るこ



とを精一杯にこなす。その繰り返し「生き
る」ってことなんだと、ボクはあなたたちか
ら教えられました。あなたたちさえしてくれ
たらボクはどこまでだって行ける。なんだ
って出来る。そんな気がしてなりません。ボク
の予感を現実のものとするために、ボクは生
きます。これからも、あなたたちと共に。



農事組合法人
俺たちのファーム代表
林やすなり

- 1.一本一本でいねい
「いのち」を植えていく。
- 2.マルチに穴を空ける作
業。 3.青空の下、みんな
での作業はあっという間
に時間が過ぎていく。



2月に林さんと一緒に神奈川県主催のセミナ
ーで農業と福祉の連携について実践報告をし
てきました。林さんとの出会いから活動内容
までを発表しました。こんなに夢中になって
作業ができるんだと利用者への理解も深まり、
利用者もまたこの作業の時間が来るのを待ち
遠しく、行くのを楽しみにしています。個人
的には、あの定植作業は良い香りがして、リ
ラックス効果もあり、毎日畑にいたい気分
にさせてくれます。 所長 近藤秀樹

この記事は /
私が担当しました！

左 / 名前: 近藤秀樹(所長)
中央 / 名前: 林やすなりさん
右 / 名前: 橋本直子(支援員)



ほうあん第一しおん

生活介護

就労継続支援B型



〒250-0024
小田原市根府川389
TEL : 0465-29-0146
FAX : 0465-29-0705

挑戦し続ける 横山さんへ



これまでにたくさん目標を実現してきました!



機械の熱で夏の作業場はとても暑くなります。



これからも
がんばっていきましょう!



軽やかに職場へと向かいます。



毎日、お仕事お疲れ様です。
私がほうあん生活ホーム*1の担当になってから、もう2年半が過ぎましたが、横山さんへの支援や関わりが、とても印象的です。

今日も元気に「失礼します」とのぞみの職員室を訪れてくれましたね。
言葉使いが丁寧で、笑顔やあいさつが爽やかな横山さん。グループホームに住まいながら、昼間はリネン工場で働いています。日々のがんばりが実を結び、リネン類の仕分けとたたみ作業を任されていて、同僚からも頼りにされていると聞いています。

ブロッサム*2への通所での出来事、金銭管理でのトラブル、トライアル雇用、服薬調整、就職、成年後見制度の利用等、この2年半の内にいろいろあり過ぎて誌面では紹介できませんが、密度の濃い関わりでした。人生山あり谷あり、現在進行形の課題もありますが、現在27歳にして確実に一人暮らしに向けて、進んでいますね。

横山さんの育った環境の厳しさを思うと「強く、頑張っている」と感心するばかりです。「厳しい」という言葉では言い表せない程に厳しい環境であったと思います。若くしてグループホームへの入所や就職に挑戦し続け、さらに一人暮らしに向けて挑戦す

る横山さんの姿勢は大変すばらしいです。横山さんを通じて、人間が成長する上で挑戦することのすばらしさを見せてもらっている気がします。

また、支援側も良い支援ができていない点もあり、常にどうすべきか迷い、同時に横山さんに学ばせてもらっています。
先日も、横山さんに私が無意識に価値観を押し付けていたこともあり、会社に足が向かなくなってしまう事がありました。私が横山さんの気持ちを汲み取れなかった結果です。すみませんでした。

- 余暇の面でも
- 「日米野球を見に行きたい」
 - 「iPhone を買いたい」
 - 「彼女や友達と遊びに行きたい」
 - 「新国立競技場のイベントに行きたい」

やりたい事をどんどん見つけて、実現している横山さん、次は何をしたいですか？

そして、横山さんの人生において大きな目標である「一人暮らし」が実現するよう支援していきますので、今後とも宜しくお願い致します。

伊藤

*1 ほうあんのぞみの運営するグループホームの名称。
*2 ほうあんのぞみの運営する就労移行支援事業所。

この記事は / 私が担当しました!

名前:伊藤肇昭(副主任/支援員)
特技:なんでも「おいしい」と言って食べる(女性職員談)
最近の大きな出来事:子どもの付き添いで行ったタグラグビーのコーチになってしまったこと
最近何とかなりたいこと:
子どもの付き添いで始めた阿波踊りが上達しないこと

〒250-0004
小田原市浜町1-2-15
TEL : 0465-22-8837
FAX : 0465-22-8089





私は利用者さんに好きなことを見つけて欲しい。
やりたくてたまらなくなってしまうほど好きなことを。

自らを生きる

「今日は何を描きますか？」
「パン！」
「どの色が好きですか？」
「この色が好き」
いつもの会話から始まるのは、絵画の時間。

うん！うん！
上出来だ！



私たちは朝起きた瞬間から自分で物事を選択している。
今日は体調が悪くないから仕事に行こう。
何を着ていく？朝ごはんは何を食べよう？
日常のささいな事でさえ全て自分で選んで行動している。

一方障がいのある人の中には
自分の意思を表現するのが得意ではない方がいる。
やりたいことや好きなことがあっても
上手く伝えることが難しかったりする。

多くの哲学者が生きることは幸せになることと答えている。
幸せって？
好きなことをしている時、満たされている時、自分の想いが伝わった時。
私は利用者さんに好きなことを見つけて欲しい。
やりたくてたまらなくなってしまうほど好きなことを。

絵画の時間では、描くものは決めておらず、
思うままに自由に色をつけていただいている。
バックミュージックにはそれぞれの方の好きな曲を流す。
音に合わせてリズムカルにクレヨンを叩きつけたり、
演歌を熱唱しながら描いたり、
筆を置いて踊るのもよし。

普段はおしゃべりが止まらない方が、
お話しすることなく夢中でペンを走らせている。
「いい色ですね！」
言葉はなくても表情が明るくなり、筆の動きが止まらなくなる。
どんな言葉掛けに嬉しくなる？
思わず手が動いてしまうような言葉って？

私はその表情や反応を逃すものかと絵画の時間に挑むのだ。
やりたいことを見つけ、自分の存在を認められる。
自分に生まれてきて良かったと感じて欲しい。

今自らの意思で描いた色や線はその人が生きている証となる。
その瞬間に立ち会いたくて私は今日も声を掛ける。

「今日は何を描きますか？」



職員の声掛けにも反応しないくらい集中しています。
テーマは「台風」!



柿が好きです！
ハハハハ！

職員と好きな物の話をしながら描いています。



色を塗ってもらった布を
職員がポーチや
手提げバッグにしています。



この記事は /
私が担当しました!

名前:木村かおり(支援員)
好きな季節:冬
行きたい国:ハワイ
最近ハマっている事:100均・手芸用品店めぐり



きらり通信

Vol.3

宝安寺社会事業部の仲間の
作品や活動を紹介するページです！



たけこの肉味噌

おいしかったね！

わんちゃん
みたーい！

じっくりみて、
みんな真剣に描きました。



たけこのが旬を迎える春の日、小田原愛児園の給食室では愛情いっぱいのメニュー「たけこの肉味噌」ができあがる。おいしそうに頬張る子どもたち。この食事の情景までにはいくつかのストーリーがあった。

始まりは、朝。

恒例の「たけこの体操」で体を動かした後、年長組の子どもたちは給食室の前に集まる。何かを取り囲み、覗き込む輪の中からこんな会話が聞こえてくる。

「これなに～？」

「たけこのこ?!」

竹林から採れたてのたけこのこ。なかなか目にするののない生のたけこのこに興味津々の子どもたち。これからたけこのこを剥くのである。

たけこのこを剥く…

先生は手伝わずに見守る。子どもたちはど

んなリアクションで皮をむいていくのか…。はじめはなでなでして感触を確認する。

「わんちゃんみたーい」

と毛並みの感触を表現している子もいる。皮をむき始めると「むいてもむいてもたけこのこだー」と驚きの様子。

たけこのこを写生する…

今度は静かな保育室を覗いてみると…そこにはたけこのこを真剣に見つめる子どもたちの姿があった。写生をしている。じっくり観察をしている。

とても素敵な絵が描けました！



「皮が着物みたい」
「ぶつぶつしているところとザラザラしているところがあるね」
「つのがはえてる」
などと感触の違いを感じていく。そして、子どもたちが素直に表現した作品はこちら↑

たけこのこを味わう…

大地が育てた恵みに触れて、見つめて、感じて描いた絵。同じ絵がひとつもないのは、感じ方がみんな違うから。それをのびのびと

表現することを大切にしたい。それこそが、みんなの感性の輝きだから…。たけこのこずいぶん仲良しになったね。

それでは改めて、「たけこのこ肉味噌」いただきます！

この記事は / 私を担当しました！



名前:中山里奈(小田原愛児園)
(保育士・キッズヨガインストラクター)
趣味:ヨガ
好きな色:黄色、黄緑、紫
愛児園の好きな給食:ハヤシライス!

自分にとっての 「生きる」

生活、家庭、仕事、そして感謝

去年6月、結婚して1年半の妻が胃癌の手術をしました。予想以上に転移しており、切除出来ずに手術が終わりました。担当医師に呼ばれ状況説明を受けました。抗がん剤治療をしての延命処置だと言われました。彼女が麻酔から覚めて説明して一緒に頑張っ
て奇跡を起こそうと話しました。そして退院して妻は実家から通院することになりました。

自分に出来ることを考えた時寄り添うことしかありませんでした。木村所長、青木課長に理解して頂き休みの調整をしていただきました。

仕事をして、休みや通院日は彼女の実家に通う日々が続きました。

初めての抗がん剤治療点滴を6時間、自宅に帰ってから錠剤を2週間。かなり辛そうだったので病院に連絡をして連れて行きました。白血球がとても少なくなっていました。「な

んでこんなになるまで我慢したの？」と看護師に言われました。彼女は治すために辛いのを我慢したのに・・・生きたいからなのに・・・何気ない言葉が人を傷つける事があるのだと感じました。

彼女の中で抗がん剤治療に対しての不安な気持ちが大きくなり、ちがう種類の抗がん剤治療を試すも、もう抗がん剤には頼らない精神力で治すと思い始めました。

年を越し、1月後半に身体が痛いと言中連絡があり、急いで実家に向かい救急車を呼び病院に行きました。腹水や腫瘍が大きくなり尿管が圧迫され腎不全を起こしかけており、2日後手術を行なうことになりました。手術は無事に終わったのですが退院間近に呼び出され余命3ヶ月と告げられました。誕生日を病院で迎えた彼女は「もう入院はしない」と伝えてきました。

退院して再び実家で自宅療養、訪問医に決

めホスピスには行かず実家で看取ることを決めました。まず木村所長に相談して長期の休みを頂けるようになりました。そして24時間彼女の側にいることを決めました。そして彼女に「もう治療方法が無いって言われた。」と話し「一緒に治るように祈ろう」と言う。「私はそのつもりだったよ」その言葉を聞いたとき自分が泣き虫だと思ひ知りました。

3月に車椅子を借りて井の頭公園まで片道40分河津桜を見に行きました。道中今やりたいことを聞きました。「今やりたいことは叶っているよ。一緒にいれることだから。ありがとう。」そう言ってくれる彼女に感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして写真を撮りました。外で撮った最後の写真になりました。その後病状は悪くなってきて痛くて苦しみ2、3日寝れないことがあり、痛い所を手でさすっていました。その後介護保険を申請して訪問医を変え緩和でモルヒネをうち、

出来る限りのことをしました。

そして彼女は5月3日に亡くなりました。1か月間、彼女とほぼ24時間一緒に居れました。

今を生きる大切さ、何気ない言葉の重み、人に対するリスペクト、感謝の気持ち、いろいろなことに触れました。

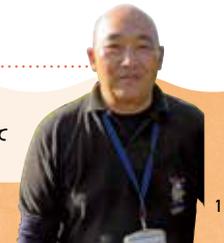
そして今思えば医者から根治できないと聞いた時「看取る」と考えたけど、実際には「一緒に生きた」でした。彼女の望みをかなえるため最善を尽くし、周りの方々に協力していただきました。こんな素晴らしい時間を作っていただいた「ふじみのさと」の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の経験したことを軸に自分に言い聞かせながら、利用者さんの支援に繋げていかなければ、と思います。

そして、素敵な思い出をくれた妻に感謝です。

この記事は / 私が担当しました！

名前: 佐々木雅人(支援員)
趣味: サッカー観戦
最近ハマっている事: 新鮮な魚を買って料理を作って食べる



ほうあんふじみのさと

施設入所支援

短期入所 生活介護



〒250-0201
小田原市曾我大沢7
TEL: 0465-41-4020
FAX: 0465-41-2777



何か困っている事は
ありませんか？

ご本人たちの元気に逆にこちらが元気になっていただくこともあります。

さあ、何気ない会話からはじまり緊張が解きほぐれてきたタイミングを見計らい、現在どのように過ごされているか確認します。「〇〇はどうですか？」「何か困っている事はありますか？」など、色々な質問をします。

「特に今は問題ありません」「元気に過ごせているのでこのままで大丈夫です」と返事を頂けると、これまたホッと一安心。その後はこれからのこと、ご相談者によってはその方の好きな話をして終了しています。しかし、そこは相談支援ですので、ホッと一安心できる内容ではありません。

し、ご本人と関わりのある、ありとあらゆる機関に連絡を取り、サービスの調整をします。しかし、緊急性が高ければ高いほどサービスの調整は難航します。同じ事業所の相談支援専門員・行政機関や他事業所の相談支援専門員などの協力もあり、サービスの調整を手伝っていただけますが決定するまでには時間がかかります。その間も絶えず本人状況の連絡が来て、他に使えるサービスは？他事業所でまだ連絡をしていない事業所は無いかと

共に乗り越え、共に進む

サービスが整い、ご本人が落ち着ける環境になると、次は「事態が起こる前のご本人の生活に戻るためには相談支援専門員として何が出来るのか？」を考えます。例えば「入院前はこんなことが趣味だったな、こういう事をするのが楽しみにされていたなあ」と振り返ります。ただ、状況が変化すると利用できるサービスも変わり今まで利用できていたサービスが利用できない場面もあります。ご本人ご家族と話をし、どうしても希望・要望に沿えない時は申し訳なさや歯がゆさを感じます。

後日、ご本人の話を聞きに行った時に「前とは違うけど、これはこれで楽しい！」「新



しい場所に行ったら楽しかった」「ありがとう」と聞くと本当に良かったと一緒に喜び合えます。久しぶりにほっと一安心をします。この時に相談支援専門員はその人の生活に直結した仕事をしているのだと、再認識するとともにその責任の重さを実感します。



日々奔走が続きます。その時にいつも考えるのがご本人やご家族の事。今大丈夫だろうか、大変な思いをしているのではないかとといった心配が拭えません。



一人ひとりの人生をお手伝いすることとは

「人生」は全ての方が同じように決められた道を進むという事はあり得ません。一人ひとりにそれぞれの道があり、その方の「生き方」その人の「人生」があります。なかにはすぐに解決できず、悩み葛藤する時もあります。しかし、一人ひとりが笑顔になるために、今日もご相談者に会いに行きます。共に悩み・共に笑顔で進んで行きます。



この記事は /
私が担当しました！

名前:大谷秀俊(相談支援専門員) 最近ハマっていること:
趣味:ラーメン屋巡り お菓子作り・角煮作り
特技:料理 お好きな食べ物:ラーメン・プリン
好きなこと:海外ドラマを見る



人生を共に生きる

挨拶から始まる相談支援

「はじめまして」「こんにちは」「久しぶりですね」ご相談者に会いに行くと普段と変わらない挨拶からはじまります。ご相談者からも元気に挨拶が返ってきたり、会話でのコミュニケーションが難しい方が明るい表情でこちらを見てくれると、「ああ、元気に過ごしてくれていたんだ」とホッと一安心します。

何とかならないかと葛藤する日々

「祖父の体調が悪くなってしまい障がいがある娘を自宅で見ることが出来ない。1~2ヶ月の間、娘を預かってくれるところを探して欲しい」「障がいがある息子が入院してしまい今通っている作業をする事業所には通えなくなると診断を受けてしまった。新しくゆっくり過ごせる事業所を探して欲しい」など、緊急性を要する相談があります。詳細を確認

ほうあんホッと相談カフェ

指定障害児相談支援 指定特定相談支援
障がい者相談支援事業 指定一般相談支援

〒250-0012
小田原市本町2-4-12
TEL:0465-44-4381
FAX:0465-44-4382

“生”きることは

“食”べること

小田原
乳児園

小田原乳児園
ほうあんうみの
食育について
レポートします！



さやむきした
グリンピースは、
おいしいスープに変身！
お給食でいただきました♡

見て 触れて

そら豆やグリンピースの
さやむきに挑戦！
不思議そうにのぞき込んだり、
そ〜と指先で触ってみたり、
そのままお口へ運ぼうとしたり…
かわいい反応がいっぱいです。



レシピ紹介

グリンピースのスープ

(大人2人・子ども2人 計4人分)

【材料】

グリンピース..... 100g
玉ねぎ..... 100g
バター..... 5g
水..... 600cc
だし・ガラスープ..... 6g
豆乳..... 120cc

【作り方】

1. 鍋にバターと玉ねぎを入れ、しんなりするまで炒める
2. [1]に水を加え、沸騰したらグリンピースを入れて
柔らかくなるまで煮る
3. [2]の粗熱を取り、
フードプロセッサーやミキサーなどで攪拌する
4. [3]を鍋に移し沸騰したら、
ガラスープと豆乳を入れて完成！！

♪グリンピースのつぶつぶ感、攪拌の加減で調節できますよ♪

ほうあん
うみ

季節の野菜を知ろう

手を洗ったら、エプロンと三角巾を身につけて、
季節の野菜の皮を剥いたり、
ピーラーや包丁といった道具を使ったりしています。

むずかしい！



ほうあんふじみのさとで育てている
野菜の収穫を行うこともあります。
6月には玉ねぎ掘りを体験しました。
力を入れて引っ張って、1・2・3！
大きな玉ねぎが出てきて喜ぶ子どもたち。

— やった！ぬけた！ —

よ
う
こ
ま



あ
ら
た
り
な
あ
ら
た
り
な

食育を行った後は…給食でぱくり！
「これ私の（むいたお野菜）かな？」といった
かわいい声も聞こえてきます。



ぱ
く
り
！



この記事は / 私たちが担当しました！

名前：佐藤悦子(保育士)(左)
趣味：カメラ撮影
好きな飲み物：♡カフェラテ♡

名前：猪俣菜津美(臨床心理士)(右)
趣味：音楽鑑賞・野球観戦
最近ハマっている事：朝ドラを観ること
好きな食べ物：肉じゃが・チョコレート
好きな絵本：かんがえるカエルくんシリーズ

おわりに

今回のテーマ「生きる」。

生きているうえで感じられる、喜び、悲しみ、怒り。
今を生きているからこそ、感じられること。
健常者も障がいのある方も、子どももお年寄りも。

わたしは
素直に自分の感情を表現することができる
利用者さんたちが、
時折、羨ましいと感じることがある。

楽しいことがあったらお腹が痛くなるほど笑って、
悲しいことがあったら顔をくしゃくしゃにして泣いて、
腹が立ったら大きな声で怒りを爆発させる。

自分の思っていることを理解してほしくて、
ありのままの自分を受け入れてほしくて、
精一杯に色々な感情で表現する。

そんな風に素直に感情を表現することが
できたらどんなによいだろう。

でも障がいのある利用者さんたちのなかには、
言葉を使ったコミュニケーションが難しい方や、
想いを表現することが難しい利用者さんたちもいる。
感情を出すことが難しい利用者さんたちも、
わたしと同じように感じているのかもしれない。

それでも、感情を出すことが難しい利用者さんであっても、
表情一つでどんな風を感じているか、
わたしにも読み取れることがある。

読み取れた時の喜びは、
言い表せないほどの喜びに溢れている。
その時、わたしは「生きている」
と感じているのだと思う。

みなさんは今を「生きて」いますか？

梨本 朋恵（ほうあん第二しおん）



宝安寺社会事業部 後援会 — スタッフ募集

子どもたちや利用者さん、
皆が暮らしやすい地域づくりをめざす
宝安寺社会事業部の応援団として、
さまざまな協力活動を行います。

子どもたちや利用者さんの
笑顔をつくりだそう！
見学・職場体験できます。

■採用・求人に関するお問い合わせ

TEL：0465-22-7667（採用担当）
ウェブサイトで採用情報を随時更新中
<https://houan1900.jp/recruit/>

■宝安寺社会事業部後援会事務局

Tel：0465-22-7667 Fax：0465-24-4411
E-mail：kouenkai@houan1900.jp